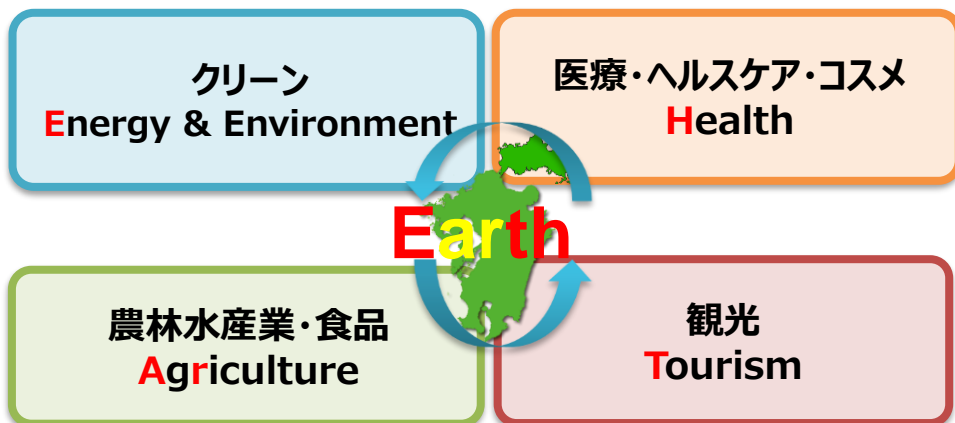


九州・沖縄地方成長産業戦略

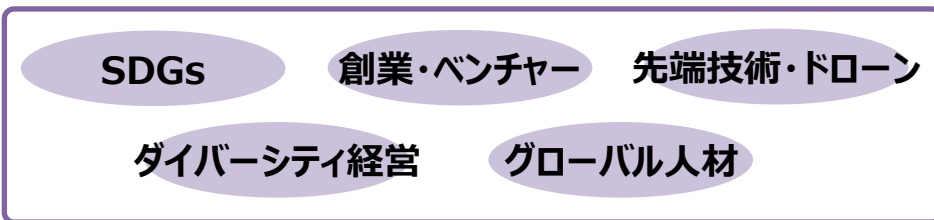
～九州・沖縄Earth戦略Ⅱ～

- ◆ 九州・沖縄の強みを活かす4つの戦略分野における取組を推進し、新たな課題解決に挑むアジアのゲートウェイ・九州として持続的な発展を目指す。
- ◆ 官民連携のもと、九州・沖縄地方産業競争力協議会にて、2014年に本戦略を策定。2021年からはステージ2として、新たな視点を取り入れた21のプロジェクトを進行中。

戦略分野



横断的取組



共通する4つの視点

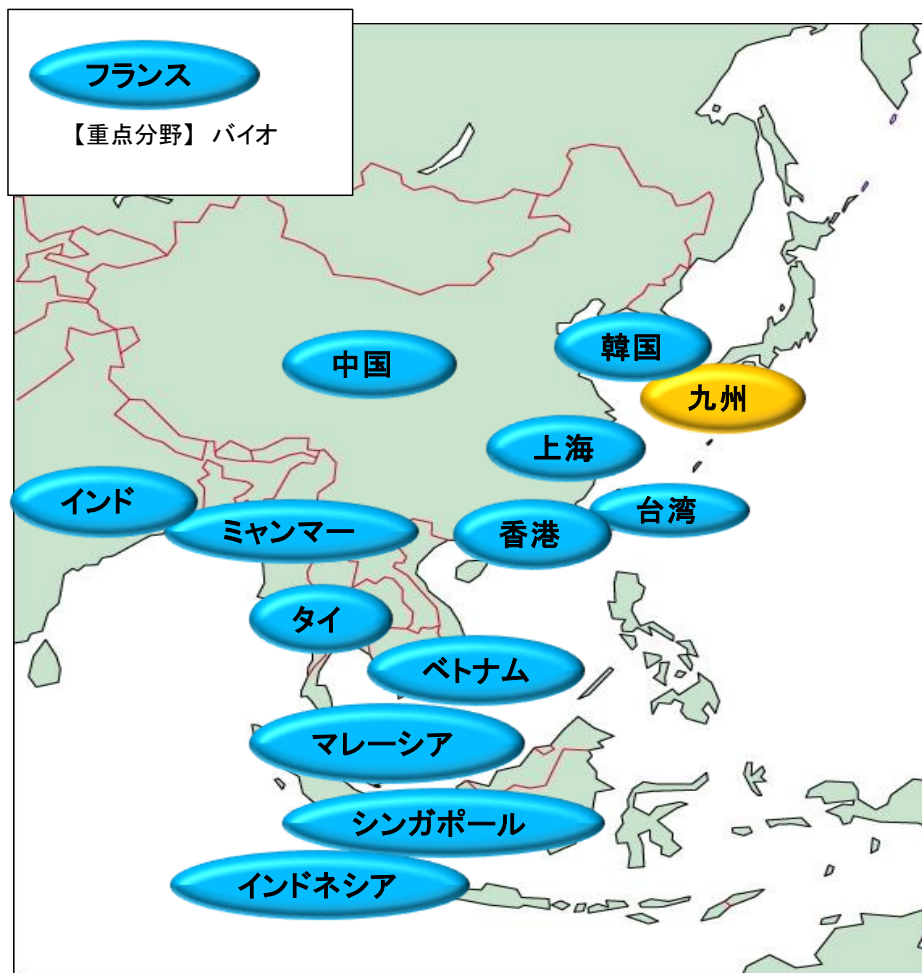


九州・沖縄Earth戦略Ⅱで進める21のプロジェクト

戦略分野	プロジェクト
クリーン	九州水素エネルギー社会実現プロジェクト
	地熱・温泉熱エネルギー産業拠点化推進プロジェクト
	海洋再生可能エネルギー産業の拠点形成プロジェクト
	北部九州自動車産業アジア先進拠点推進プロジェクト
	有機光エレクトロニクス産業拠点化プロジェクト
	九州・アジア環境エネルギー産業推進プロジェクト
医療・ヘルスケア・コスメティック	ヘルスケア産業振興プロジェクト
	革新的医療品等創出拠点プロジェクト
	バイオ産業振興プロジェクト
	唐津コスメティック構想推進プロジェクト
農林水産業・食品	九州の食の輸出推進プロジェクト
	スマート農業推進プロジェクト
	スマート水産業推進プロジェクト
	農山漁村発イノベーション等の推進プロジェクト
観光	九州観光戦略プロジェクト
SDGs	九州SDGs経営推進プロジェクト
創業・ベンチャー	創業・ベンチャー企業創出プロジェクト
先端技術・ドローン	先端技術活用推進プロジェクト
	ドローン産業振興プロジェクト
グローバル人材	ものづくりにおける組み込みソフトウェアへの軽量Ruby活用促進プロジェクト
	グローバル人材の育成・活用促進プロジェクト

アジア諸国とのMOU締結を基盤とした経済交流

- ◆ 九州では、(一社)九州経済連合会と九州経済産業局が事務局を務める九州経済国際化推進機構を組織、九州地域における官民一体の国際化推進のための一元化組織として、アジアをはじめとした諸外国との経済交流を展開。
- ◆ 特にアジア諸国とは、経済交流促進のためのMOUを締結、これを契機として相互のミッション派遣や商談会などビジネスにつながる取り組みを推進中。



国・地域	締結先	締結時期	九州側
ベトナム	・ベトナム計画投資省 (MPI)	2009年 2月	機 構
香 港	・香港中華総商会 (CGCC)	2011年 11月	九経連
	・香港貿易発展局 (HKTDC)	2012年 8月	九経連
台 湾	・中華民国工商協進会 (CNAIC)	2012年 6月	九経連
インドネシア ¹	・インドネシア共和国投資調整庁 (BKPM)	2012年 11月	機 構
タ イ	・タイ投資委員会 (BOI)	2012年 11月	機 構
ミャンマー	・ミャンマー商工会議所連盟 (UMFCCI)	2013年 2月	九経連
シンガポール	・シンガポールビジネス連盟 (SBF)	2013年 7月	九経連
イ ン ド	・インド商工会議所連合会 (FICCI)	2014年 6月	九経連
中 国	・上海新滬商連合会 (SEA)	2014年 9月	九経連
	・山東省商務庁 (DCSP)★	2018年 6月	
	・山東省威海市人民政府 (WMPG)★	2018年 6月	
マレーシア	・マレーシア投資開発庁 (MIDA)	2015年 11月	機 構
フィリピン	・フィリピン共和国投資委員会 (BOI)	2019年 7月	機 構

★ 食品流通での相互協力に特化したMOU (休憩練度の窓口は農林水産部)

¹インドネシア商工会議所(KADIN)については、2012年11月締結時に定めた3年間の有効期限が満了

国・地域	締結先	締結時期	九州側
韓国	・韓国産業団地公団	2007年11月	
中国	・大連市政府	2009年2月	九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ (※2016 (H28) 年6月21日に名称変更)
	・山東省政府	2010年7月	
マレーシア	・マラッカグリーンテクノロジーコーポレーション (MGTC)	2013年10月	九州環境エネルギー産業推進機構
	・イスカンダル・マレーシア商工会議所	2016年8月	
フランス	・FC 2 イノベーションフランチフードクラスター (FC2)	2010年9月	九州地域バイオクラスター推進協議会
	・フルブランクル協会 (BBC)	2013年10月	
ベトナム	・ホーチン半導体協会 (HSIA)	2013年11月	九州半導体・エレクトロニクスイノベーション協議会
台湾	・經濟部工業局智慧電子産業計画推動弁公室 (SIPO)	2019年5月	

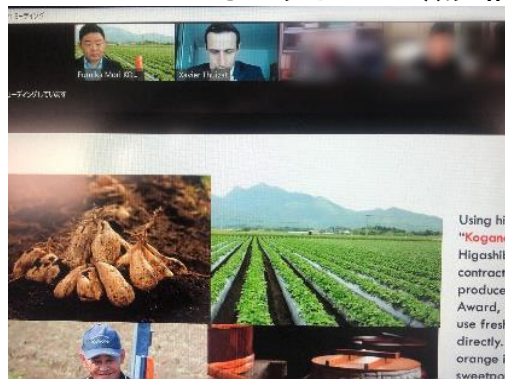
九州産本格焼酎の輸出促進

- ◆ 九州地域は、原料の風味豊かな本格焼酎の出荷シェアでは日本全体の約96%を占めていますが、2020年の日本産酒類の輸出約710億円のうち、焼酎は約12億円(約1.7%)にとどまっております。海外販路開拓への取組が期待されています。
- ◆ 日EU・EPA締結を契機に、九州産酒類の海外への販路開拓のため、九州経済国際化推進機構と、フランスで日本酒のコンクールなどを行う「Kura Master協会」との交流を通じて、九州産「本格焼酎」を発信し、欧州での理解促進に取り組んでいます。具体的には、フランス現地でのセミナー、Kura Master関係者の九州への招聘、試飲会の開催、オンラインでの蔵元紹介・商談会等を実施しています。
- ◆ こうした取組の結果、2021年にKura Masterコンクールに「本格焼酎・泡盛部門」が創設されました。今後はフランスをはじめとする欧州への本格焼酎の販路拡大が期待されます。
- ◆ また、九州経済産業局並びに九州経済国際化推進機構は、2021年5月に「本格焼酎・泡盛輸出促進ネットワーク」を設立し、蔵元や商社、自治体、支援機関等による情報交換や事業連携を図ることで、本格焼酎・泡盛の輸出拡大を目指しています。

パリでの本格焼酎セミナー



オンラインでの蔵元紹介（試飲会）



Kura Masterによる九州本格焼酎の試飲会・意見交換会（鹿児島）

